

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 相模原市立大島小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 20 「これはどこだ?さがしてみようまちパーツ」
単元名 (全 時間)	これはどこだ?さがしてみよう大島まちパーツ 全5時間
学習のねらい	社会科の学習での町たんけんのきっかけとし、身近な景観を構成する要素の多様性に気付き、その特性を感覚的に把握する。 地域の魅力や景観を見つめ直す方法における新たな視点としたり、発信したりすることの楽しさを味わう。
学習内容	1 出会う：無意識のまま眺めていた景観の中に様々な表情があることを知る(素材との出会い) 2 つくる：地域にあるおもしろいと感じたものの写真を撮り、問題を作る。写真をもとに、ワークシートを作成する。 3 さがす：ほかの班が写したものの場所とそのもの自体を探す。 4 気付く：さまざまな素材に囲まれて生活していることに気付く。
参考資料 準備品 実施場所等	準備物：デジタルカメラ(グループに1台) バインダー 筆記用具 コンピュータ プリンタ 地域の地図 場所：教室 学区内

学習の流れ



時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○教師が撮影した写真から、どこにそれがあるかをクイズ形式で考える。 ○撮影手順とカメラを扱う際の注意点を確認する。	○一部分を見せ、その写真が校舎内のどこにあるのかを考えさせる。 ○カメラの使用方法を伝え、周囲の状況に注意しながら撮影させるようにする。	○校舎内の景観について興味をもって、調べようと考えている【主体的に学習に取り組む態度】
2 ～ 3	○グループごとに、事前に決めておいた地域で、まち探検をする。 ○見つけたものを写真に撮り、場所を地図に記録する。	○交通ルールを守り、安全に留意しながら町探検ができるように言葉かけをする。 ○町の特徴となっている建物やシンボルマークとなっているような物を撮影できるようにする。	○学区内の地図に、撮影場所を記録することができる【知識・技能】

4	○まち探検で撮影してきた写真をもとに、大島まちパーツクイズを考える。	○町の景観を構成している要素をクイズの題材にできるようにする。	
5	○大島まちパーツクイズ大会を開催する。 ○これまでの活動を振り返り、学習のまとめをする。	○どこに何があるのかだけでなく、その場の風景や景観を構成しているものには様々なものがあることに気付かせるようにする。	○町の景観を構成している要素にはどのようなものがあるか考え、クイズ形式で表現している。【思・判・表】

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 大島小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1	校舎内	◎大島小学校にある絵や場所を見つける。 大島の町にはどんなものがあるのか考えるきっかけとする。		<ul style="list-style-type: none"> ・学校にこんなものがあったなんて初めて知る ・地域にあるものを知りたい
2	教室 屋上	◎大島の町探検の計画を立てる ◎普段は見慣れているが、シンボルとなっている建物などを撮影する		<ul style="list-style-type: none"> ・大島と言えば何かお家の人に聞いてみよう ・あまり周りに何があったか覚えていない

3・4	地域	<p>◎実際に、町に出て撮影をする</p> <p>◎普段は見慣れているが、シンボルとなっている建物などを撮影する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今まで気づけなかったまちの魅力がたくさんある ・私も初めて知ったものたくさんあるから伝えていきたい
5～8	教室	<p>◎撮影したものから大島まちパーツクイズを制作する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを作ろう
9・10	教室	<p>◎完成したものを発表し合う</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがやったことで大島のことが広まった ・まちのよさを大切にしたい

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

児童が大島まちパーツクイズに必然性をもって取り組めるように、普段見慣れている学校内でも明確に記憶していない場所を見つける活動を取り入れた。町探検にパーツクイズを組み込むことにより、自分たちが住む地域に興味をもたせるようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

児童の安全面や時数等を考慮すると、調査時間を十分に確保することができなかった。

(3) 児童の反応

これまで最長で9年間過ごしてきた地域のことも、たくさんの知らないことがあり、改めて地元の魅力に気付いたり、自分の地域の特徴的な場所を知ってほしいという思いをもったりすることができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

教育活動において地域に目を向ける機会が少なく、施設や風景などを大切に、関わりを深めることで、児童とともに地域の価値を考えていきたいと感じた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

児童と地域を関連付けるためには、地域の方や施設などと協働していくことが必要であると感じる。

まちのよさや景観について知る機会をもつとともに大切にしたいと思う気持ちを育むために、計画的に学習を進めていくことが必要である。